

リトルトントン

No.145

2025年9月



トピックス

秋はおつきさまがきれいに見える季節です。真ん丸だったり、半円だったり、細い
三日月だったり、いろいろな形をしたおつきさまを見ることができます。
そんなおつきさまが出てくる本を紹介します。夜空を見上げてみてください！

さがみはらしりつとしょかん はっこう
相模原市立図書館 発行

電話 042-754-3604

ものがたり J993/ヤ

『カエデ騎士団と月の精』

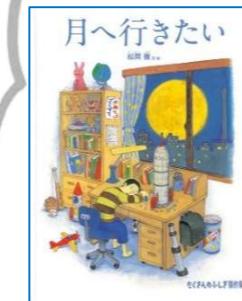


リック・ヤンティ著
末延 弘子訳
ひょうろんしゃ
評論社

カエデ騎士団を結成した、リスのノコとハリネズミのトイヴォ、ネズミのイーリスは、百年に一度目ざめる月の精の伝説を調べるうちに大変なことがわかります。村を守るために力をあわせてかつやくする、カエデ騎士団の冒険を描いた楽しいお話です♪

ちしき J53

『月へ行きたい』



まつおか 松岡 徹文・絵 福音館書店

地球から月までの距離は、新幹線で55日飛行機で15日かかります。月へ行った乗り物はロケットしかありませんが、月へ行く方法の研究は進んでいて、なかには驚くようなアイディアも考えられています。月や宇宙が、今よりもっと身近になる未来がくるかもしれません。

ちしき J44

『日食と月食』



ふじい 藤井 旭監修・写真 ほるぷ出版

太陽が月にかくれることで起きる日食。月が地球のかけにかくれることで起きる月食。太陽・月・地球が重なる時に見られる、日食や月食の仕組みを、わかりやすく解説しています。美しい太陽や月の写真も見どころです。

ものがたり J913/ト

『菜の子ちゃんとマジムンの森(日本全国ふしき案内(4))』



とみやす 富安 陽子著 蒲原 元画 福音館書店

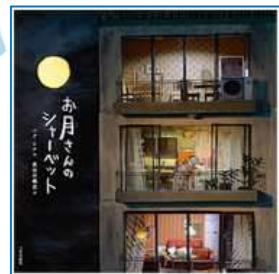
沖縄の森に住む妖怪・ブナガヤの落とし物を届けることになったユージと菜の子ちゃん。マジムン月とよばれる満月の夜、2人に起きた不思議な出来事とは? 沖縄の美しい自然の中で、思いがけない冒険が始まります!

おつきさま



えほん E/ペ

『お月さんのシャーベット』



ペク ヒナ作 長谷川 義史訳
ブロンズ新社

お月さんがとけるほど暑くて暑くて眠れない夜、みんながエアコンをつけたら停電してしまいました。そんな真っ暗なアパートの中でひと部屋だけ黄色に光っています。そこで作っていたものはお月さんのシャーベット! いったいどんな味がするのかな?

ほか 他にこんな本もおすすめ!

ものがたり J923/シ
『月からきたトウヤーヤ』



じとう 蕎 甘牛著
喜美島 久子訳
いわなみしょん 岩波書店

※本をさがすときは、
のところをめじるしにしよう

えほん E/や
『おつきみパーティー
まんまるまんまる』



すとう あさえ文
山田 かな花葉絵
川島 雅子レシピ提供
ほるぷ出版

ちしき J21
つきよ 『月夜のおおわぎ』



きゅうしゅうこくりはくぶつかん
九州国立博物館企画・原案
がこうしゃ がいきく
画工舎制作

フレーベル館

あ

た

う

し

い

ほ

ん

あたら はい ほん なか しょくかい
新しく入った本の中から、おすすめの本を紹介します。

ある晩、おじいさんは仕事中にいねむりをしてしまいました。ねこの声で目を覚ますとそこには不思議な光景が……。

あわてて家に帰っておばあさんに話をすると、飼い猫のトムも一緒にになって聞いていました。おじいさんは一体何を見たのでしょうか？

えほん E／ムラサキ

『ねこの おうさま』

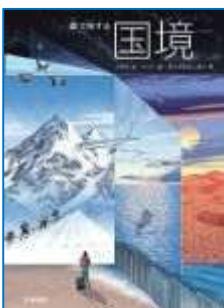


ポール・ガルドン／再話と絵
いしづ 石津 ちひろ／訳

こうがくしゃ 好学社

ちしき J31

『絵で旅する国境』



クドル／文 ヘラン／絵
なかやま よしゆき／訳
ぶんけんしゅっぱん 文研出版

くに 国境は国と国をわける線のことで、争いがおこりやすい所でもあります。ひととは国境がへいわ 平和であるよう努力しています。国と国の関係について 考えさせられる一冊です。世界中の国境の様子を描いた、美しい絵もみどころです。

えほん E／ゴ

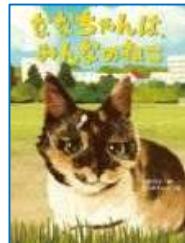
『せんそうがおわるまで、あと2分』



ジャック・
ゴールドスティン／作
長友 恵子／訳
ながとも けいこ やく
こうどうしゅっぱん 合同出版

ものがたり J913／イ

『ななちゃんは、みんなのねこ』



いまにし のりこ／作
今西 乃子／作
ひろみちいと／画
が
いわさきしょてん 岩崎書店